

8月6日

バスの遅れたせいで、式典の席が取れませんでした。でも8時15分の黙とうには間に合っ
て、よかったですと思います。菅首相の式辞の中には、現実には問題課題が山ほどあるのに、
政府の対応が不十分で、涙を流す人たちがまだいっぱいいるというのに、言葉の上だけは、
二度とこのようなことは起こしてはならない、平和を大切にしてい、美辞麗句の羅列で、
実相を伴わない言葉の空虚さを感じさせられました。

お昼までの時間があつたので、太田川を走
る船に乗りました。初めて乗りました。名
前は遊覧船でしたが、熱さに耐えかねてこ
の川に飛び込んだ人たちのことを聞くと、
何とも言えず、ただただ濁った川面を眺め
るのみでした。対岸にたたずむ原爆ドーム
を川から眺めながら、犠牲者の声がここら
から聞こえてくるようでした。



昼食会場までの道のり、私は少し遠回りをしました。100円ショップで買い物をしたかった
のです。その途中、いつか訪れた爆心地に中学生たちが語り部の人たちの話を熱心に聴い
ているのに出会いました。その光景が私にはうれしくもあり、懐かしくも感じられてしば
らく一緒に立ち止まって聞いていました。この頭上580メートルの所で爆発したとのこと。



一瞬にしてこの病院で働い
ている人、入院していた人
たちの命はなくなりました。

66年後の今日も後遺症
に苦しむ人たちがいます。
菅さんの言葉を有言実行し
てくださいと言わずにおれ
ません。苦しんでいる人た
ちに光と温かい思いやりを
国は持つべきです。